

(学校番号092) 令和4年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【新和小学校】

| 4月27日 | | |
|---------------|--|--|
| 目標・策 | | |
| 知識・技能 | R元年度市学習状況調査の自校結果より国語・算数の「知識・技能」において3pt向上させる。自校テストを実施して、以下の2つの項目の平均正答率を6%向上させる。①言葉の特徴や使い方②図形 | ⇒ 「ドリルパーク」「スタディサプリ」等を授業や朝の時間に活用し、反復・習熟を行う。その際、児童の学習履歴を確認し、毎月第1水曜日に個別に学習計画を立てる時間を設定する。 |
| 思考・判断・表現 | R元年度市学習状況調査の自校結果より国語・算数の「思考・判断・表現」において3pt向上させる。自校テストを実施して、以下の2つの項目の平均正答率を6%向上させる。①書くこと②データ活用 | ⇒ ミライシードのオクリンクやムーブノートを活用し、思考を可視化して表現し、考えを伝え合うことで、比較・検討する協動的な学びの場を設定する。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | R4年度さいたま市学習状況調査「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」の質問項目において、肯定的な回答の割合をR3年度の値より5pt向上させる。 | ⇒ 全ての授業において、児童とともに必要感のある課題を設定し、解決の見通しをもたせ、自己解決する場を設定する。また、どの単元においても授業後の「学びの手ごたえ」(振り返り)を実施する。 |

| 9月1日 | | |
|-------------------------------|--|---|
| 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後) 変更なし | | |
| 知識・技能 | | ⇒ |
| 思考・判断・表現 | | ⇒ |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | ⇒ |

| 8月23日 | |
|--|--|
| 全国学力・学習状況調査結果・分析 | |
| 国語：問題文に慣れない言葉が出てきたり、長文になったりすると、問題を解こうとする意欲が低下してしまう傾向が見られる。文章で答える問題では、提示された条件を全て満たして書くことが難しいので、問題をよく読み、答えを書く活動を、今後の授業で取り組んでいく。また、文章問題、要約の練習などに取り組むことで、書く力を身につけていく。 | |
| 算数：基本的な計算はよくでき、知識・技能は身につけている傾向がみられる。思考的な問題では、複数の資料を合わせて問題を読み取り、答えを導くことが難しい。数字を使った式にすることはできるが、式を言葉に直し、表現することも難しい。無回答も多いので、普段の授業やテストでも、自分の考えを書くことができるように指導していく。また、式や答えを導きだすまでの思考を大切に、言葉で表すとどうなるか等の「考える」活動を授業に取り入れ、言葉で表現できるように指導していく。 | |
| 理科：基本的な知識は身につけているが、応用問題になると問題の意味を理解できなかつたり、基本的な知識が使えなくなつたりしてしまう。「もし、〇〇が正しいとするならば」という条件が課される問題、一つの文章を引用し、資料から読み取ったことを付け足して答える問題についての答え方が理解できていない様子が見られるので、基本的知識を身につけさせながら、多様な問題に取り組ませ、「問われていることは何か」を理解する力を身につけられるよう指導していく。 | |

| 2月27日 | | | |
|------------------|--|----|---|
| さいたま市学習状況調査結果・分析 | | | |
| 小3 | 国語：話すこと・聞くことが苦手な傾向がある。授業の中で、相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話をしたり、聞いたりすることを意識させていく。 算数：小数の計算やコンパスの使い方はよくできていた。直角や立体の構成など図形が苦手なようなので、タブレット学習でも重点的に取り組ませていく。 | 小4 | 国語：主語、述語の関係をしっかりと理解している。書くことが苦手な傾向があるので、一言日記を書くなど文章を書くことに慣れさせていく。 算数：減法、除法の混合した計算がよくできていた。正三角形や平行四辺形などの図形やグラフの読み取りが苦手なので、PCを活用するなど工夫して分かりやすく教えていく。 |
| 小5 | 国語：情報の扱い方、話すこと・聞くことについての理解が高い。読むことが苦手な傾向があるので、物語の情景を捉えることができるよう、今後も読書活動を推進していく。 算数：合同な三角形や直方体の構成など図形がよくできていた。小数、分数の計算は苦手な傾向が見られたので授業のはじめに取り組ませるなど今後も継続して指導していく。 | 小6 | 国語：書くことが苦手な傾向が見られる。相手に伝えたいことを明確にし、書き手の表現の仕方の工夫に気づけるよう、読書を通してさまざまな表現方法に触れることができるようにする。 算数：比や線対称の図形の理解が高かったが、計算やデータ活用が苦手なので、基本的な計算やグラフの読み取り問題を重点的に取り組ませるなど、今後も継続して指導をしていく。 |

| 2月28日 | | 評価(※) |
|---------------|---|-------|
| 成果指標に対する達成状況 | | |
| 知識・技能 | R元年度市学習状況調査の自校結果と比較し、R4年度の「知識・技能」の項目は、国語は19pt向上し、算数は5pt減少する結果となった。国語は目標を達成した。自校テストを実施し、①「言葉の特徴や使い方」の平均正答率は9%向上し②「図形」の平均正答率は15%向上した。国語、算数ともに目標を達成した。 | A |
| 思考・判断・表現 | R元年度市学習状況調査の自校結果と比較し、R4年度の「思考・判断・表現」の項目は、国語は3pt減少し、算数は6pt向上する結果となった。算数は目標を達成した。自校テストを実施し、①「書くこと」の平均正答率は14%減少し、②「データ活用」の平均正答率は20%減少した。 | C |
| 主体的に学習に取り組む態度 | R4年度さいたま市学習状況調査「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」の質問項目において、肯定的な回答の割合をR3年度の値より9pt向上し、目標を達成することができた。 | A |

| 3月8日 | |
|---------------|--|
| 次年度への課題と改善策 | |
| 知識・技能 | 国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」、算数の「数と計算」について今後も重点的に指導していく。「ドリルパーク」「スタディサプリ」等を授業や朝の時間に活用し、反復・習熟を今後も行い、基礎的・基本的な力が身につくようにしていく。毎週木曜日に個別に学習計画を立て、タブレットを活用して習熟を図る時間を設定する。 |
| 思考・判断・表現 | 国語の「書くこと」、算数の「データ活用」の項目を来年度も重点的に指導していく。授業の中で、考え方の理解を深めるために、児童同士で話し合わせ、考えを伝え合う協動的な学びの場を今後も設定していく。その際、タブレットを使用し児童同士の考えを共有したり、共同編集をしてグループの意見をまとめたりする活動を通して、思考力や表現力を高めさせていく。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 昨年度より向上している傾向にあるが、児童が自ら考え、決め、取り組む「学びの自律化」をどの児童もできるようにしていきたい。一人ひとりが主体的に日々の学習に取り組めるよう、児童の学習意欲を高められるような声掛けや働きかけを今後も行っていく。 |

※評価
 A 8割以上(達成) C 4割以上(あと一歩)
 B 6割以上(概ね達成) D 4割未満(不十分)